

令和 7 年 10 月 27 日（月）18：30～ 金屋小学校 I 統合検討会（於：荒川地区公民館）
参加者：PTA 役員 9 名・保育園保護者会役員 1 名・学校運営協議会委員 5 名・区長会代表 2 名・学校 1 名・市教委 5 名 合計 18 名（市教委除く）

市教委 今日の検討会の会議録作成のために、中央のレコーダーで録音をさせていただいてますので、よろしくお願いいたします。前回の検討会の際の会議録も録音させていただいて、ホームページ上に毎回検討会の内容をアップさせていただいてるんですけども、会議の初めにこのような形で録音させていただきますということを、一言、説明すればよかったんですけども、申し訳ございませんでした。保護者の方から、前回の内容を知らない間に掲載されてましたし、内容についても個人的に特定されるような内容だったので削除して欲しいということで、お叱りのお話を受けました。承知しましたので、今回は説明させていただきました。

それでは始めさせていただきたいと思います。皆様こんばんは。本日は大変お忙しいところ、貴重なお時間をいただきまして大変ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。それでは教育長からのご挨拶の方よろしくお願いいたします。

教育長 本日は第 2 回目の金屋小学校の統合検討会ということで、ご多用の中お集まりいただきまして本当にありがとうございます。そして今ほどは会議録の公表について、ちょっと配慮に欠けた面があったことをお許してください。本当に申し訳ありませんでした。本日は、前回の続きということで、金屋地区の皆さんの意見をまとめていただくのが、今日のこの内容だと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

市教委 本日のこの会は、午後 8 時を目途に終わりたいと考えておりますので、皆様ご協力をお願いいたします。そして本日の検討会の通知と一緒に問答集を配布させていただきました。こちら皆さんお読みいただいていることと思いますので、特に説明はいたしません。何かご不明な点がございましたら、その都度おっしゃっていただければと思います。

それでは次第に沿って進めたいと思います。次第の 3 番目の、これまでの経過になります。前回の 9 月 1 日の統合検討会では、金屋小学校と保内小学校が統合すること、そして、この次のステップである合同統合検討会に進むことについては、もう 1 回検討会を開いて結論出しましょうということになりました。それでは始めに、まずは P T A さんの方から、ご意見をお伺いしたいと考えております。では、会長さんの方からよろしくお願いいたします。

保護者 よろしくお祈ります。本日はこのような場を設けていただきまして誠にありがとうございます。保護者の皆様、CS の皆様、区長の皆様、お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

9 月 1 日の統合検討会の後 P T A 三役で今後の方針を考えました。まず統合の時期については、前回の検討会の会議の通り、令和 10 年だとまだ時期が早いんじゃないかということになりました。理由としましては保護者、地域住民の間に賛成と反対の意見があってその意見が拮抗している状態であるということ、あと地域の衰退への不安がまだ解消されていないということ。金屋小学校なんですけれども複式学級になる可能性が高くなって、保内小学校も学級数が著しく減少する令和 13 年頃を目途に統合進めるのがいいのではないかという、前回の検討会のお話で出たと思うんですが、その通りだと思ってますので、その意見を進めていきたいと思っております。一概に統合反対というわけではなくて、まだ時期が早いので、または令和 10 年から 13 年のあたりで、保内小学校と金屋小学校が、統合の準備、交流をしていく、子供たちと保護者、地域がお互いに交流し合って、お互いの顔が見える関係

を育んでいくということをまず重視した結論に至りました。この内容なんですけれども、9月25日のPTAの三役部長会にて、PTA役員会を開きました。そこに来ていただきましたPTAの役員の方と共有しまして金屋小学校といたしましては、その意見でいきます。令和10年の統合ではまだ早いということになりました。以上です。

市教委 ありがとうございます。それでは、地域の方からご意見を伺えればありがたいんですけども、いかがでしょうか。PTAさんからのご意見いただいたわけなんですけれども。

学運協 ちょっとよろしいですか。1つお聞きしたいんですか。令和10年は早い、13年ごろを目途に統合したらいいんじゃないかというお話でしたよね。で、その前段として、合同の検討会がこの次に、立ち上がるわけなんですけど、その時期についてはどのようにお考えか、もう一度お聞かせください。

保護者 この間のPTAの会議の中での話でありますけれども、PTAとしては、今回のこちらでの、こちらで合同検討会に進むかどうかという決定については進まないという判断を一旦させていただきたいというようなのが、小学校の中でのPTAの中での結論でありました。
というのは、この間も懸念点の話をさせていただいたんですけども、合同検討会に進んでしまったら、我々PTAサイドの不安点としては、やっぱり多数決で令和10年の統合という方に進んでいってしまうのではないかと、そのルールがもう敷かれてるんじゃないかということですか、或いは多数決で保内の方と同数で、そこに集まるわけですから、多数決になったときに、この我々のその希望というか、期待するものが必ずしも叶えられないという状況を考えると、一旦ちょっと合同検討会に今年度は進まないという判断をさせていただき、またしかるべき時期に、合同検討会を今度は13年に向けてという形で進められればというのが、PTAとしての今の立場であります。以上です。

学運協 ありがとうございました。

市教委 地域の方から他にご意見ございますでしょうか。

学運協 私も質問したいんですけど、金屋小学校の保護者の方々が考えられる期待する方向へ進めないのではないかと懸念があると。具体的にたとえばどういう内容を指すのでしょうか。

保護者 具体的には令和13年に統合、令和13年ごろまでにちょっと時期を遅らせて欲しいということが叶わないのじゃないかという、不安ということですね。

学運協 ありがとうございました。けれども、なんかよくわからないんですけど。13年には進まない。

保護者 13年がいいなと我々は思ってるわけですよ。今この場で合同検討会に進みますと、13年頃であれば、13年統合を目指して進みますと言った後で、皆さんが一堂に会して合同検討会入りますと、その時にやっぱり10年がいいよねってなったら、我々がこの場でOKを出した意味は何だったのってことになってしまうことを、懸念しているってことなんです。

- 学運協 方向性が変わるということですか。
- 保護者 そうです。合同検討会に行ったときに、必ずしも我々の立場という考え方が尊重されないって言ったら変かもしれないですけども、何ていうんでしょうそういうふうに変わってしまうことを恐れている。
- 学運協 はい。ありがとうございました。
- 学運協 この統合計画の中では、教育委員会の方では、令和 10 年を目指すような計画で、我々に説明に入ったわけですが、前回の、検討会でも、地域の思いも大事なんですよけども、代表者の方から、今の P T A の方々の意見を尊重すべきじゃないかという話がありましたよね。大体皆さんそれで、私もそう思うんですけども、私個人としての意見とすればちょっと違うんですけども。ただ、この前の検討会の中では、やっぱり P T A の現役の保護者の方のご意見を尊重しながら今後進めたらいいんじゃないかというお話がありました。そうすると、今の皆さん方は、複式になる、なる可能性が高い 13 年を目指して、統合を進めたほうがいいという意見なんですよ。そうするとこの検討委員会で我々はそれに賛同をしなきゃいけないんですけども、教育委員会の方で、教育長さんの方ではどのようにお考えになりますか。10 年を 13 年に変更できるものなんですか。
- 教育長 これは、こういう結論になりますと、これは金屋地区の皆さんの考え方ということで、それを保内に諮る必要があります。保内の方がどのように考えるのか。教育委員会としては、学年 2 学級をできるだけ早い時期に、両校の子供たちのために、そういう環境を作りたいという願いなんですけれども、それとはちょっと、時期がずれてきますので、目的が複式解消のための統合になってしまうんですね。そういうのを保内小学校側が理解していただいて、わかったと、金屋の皆さんがそう考えるんだったらいいよとなれば、今のようなおっしゃられたような方向になってくるんじゃないかと思います。それと違う考えを保内小学校さんがされたら、また皆様方にお集まりいただいて、保内の願いをお伝えしなければならないんだと思います。その上でどう考えるのか。また結論が出るんじゃないでしょうか。
- 学運協 もしそこで、保内小学校側も 10 年を 13 年に変更するとの受け入れが、仮になされたとなれば、この計画を進めるに、また、なんていうか、次のステップってのはどのぐらいを考えられてるんでしょうか。
- 市教委 今、P T A の方からは、令和 13 年でいくのであれば、例えば 3 年前とか、しかるべき時期についていう希望があると思うんですけども、教育委員会としての考え方ではどうか、私たちの仕事って、例えば、学校の施設を改修しなければならないねとなったら、予算計画を立てて予算を取って、設計をして工事をしてっていう、3 年ぐらいかかるのは普通にかかることなので、仮に保内小も令和 13 年でいいよとなったときでも、合同の話し合いっていうのは、なるべく早くスタートさせて、使用校舎をどうするのかとか、統合形態どうするのかっていうことは決めておいた方が、今後の施設整備とか、例えば空き校舎の利活用を考えると、そういった場合も準備が早く進められるなというふうに考えておきまして、仮に、両校ともに令和 13 年でっていうことで話し合いがなされるのであれば、その期間をあまり置かなくて、そのまま話し合いをするっていうのもありなのかなというふうに考えてます。そちらの方が、計画が立ちやすいとか、準備がスタートできる。そんなふうに考えてますけど。
- 学運協 今学校教育課長が言われたように、もし仮にですと、保内小さんが 13 年を受け入

れたとすれば、私は、すぐにでも、合同検討会を立ち上げて、話し合った方が、よりいい統合に行くと思うんですよ。やはり、私は元職員なんで、この統合で、どちらの学校を使うのかは、別としてですね、西神納小学校みたいに増築するとか、そういうことはないと思うんですよ。ただ、どうしても教育環境整備をしなきゃいけないとなると、今年決めたから来年お願いしますでは、市の財政計画もあるので、なかなか着手できない。逆に、合同検討会である程度、両校で合意して、方向性を見いだせば、そこに予算付けをして、財政計画を立てて、で令和13年で迎えると思うんですよ。そういうある程度、行政側のテクニックの話なんですけども、スムーズに行くには、少し時間を空けて、この合同検討会を立ち上げるよりは。これはもう前提として、保内小学校か令和13年でいいよということがもう絶対条件だと思うんですけど、それがこじればまた振り出しに戻るわけなんですけども。是非そういうふうになったら、あまり期間を置かずに、私は合同検討会を立ち上げて方向性を話し合っ、その中で、先ほど会長さんが言われたような、お互いの交流会とか、そういうものを、また別立てて考えていった方がいいんじゃないかなと私は思います。

保護者 まず、ちょっと2つの話をちょっとさせていただきたくて、1つは今お話しいただいたことに関連するんですけども、先ほど会長が伝えた通りの立場で今日臨もうというわけなんですけれども、先ほどPTAの立場を尊重すると言っていたんですが、逆にPTAとしては、我々のスタンスは決めて臨むけれども、地域の皆さんとか、CSの皆さん、保育園の保護者の皆さんのご意見も承って、その中で結論を出していきたいという話をして、持ってきているので、今日この話をなんていうんでしょう、もう合同に進まないって、もう絶対に切るということではなくて、こういうふうに皆さんのご意見を承りながら、いい一致点を見つけていきたいというのがまず最初のスタンスでしたというのが、PTA三役としての発言として1つ目です。

もう1つが、今ほどの学校環境のお話についてはこれは個人的な意見ですけども、やっぱりもう統合に向かわざるをえないとなって、保内の皆様も令和13年ということに納得していただけるのであれば、その学校環境はやっぱり子供たちのためには、高まっている方がいいかなと思いますので、そういうメリットを考えれば、個人的にはですけども、そういうできる議論は早い方がいいのかなというのは今お話を聞いてて思いましたという2点でした。ありがとうございます。

学運協 ちょっと同意見でいいでしょうか。いただいた意見に対する市教委の回答よく私も見てみたんですけども。合同検討委員会って一体何をするのか、私自身もよくわからなかったんですけど、よく読んでいくと3点上がってるんですね。その統合の時期を話し合うのもいいと。それから、統合の形、吸収なのか、対等なのか、そういうののこと。もう1点は、使用する学校、それ以外もあると思うんですけども3点があがっている。そうすると、早く合同に行って、統合の時期を話し合っ先への見通しを立ててもいいんじゃないかなと思います。ただそこで願わくば保内の方たちも、令和13年でいいですよというふうに願ってます。

もう1つは、人数なんですけどその合同の人数は、両方同数選抜者と書かれているので、先ほどの保護者の方が心配されているような、なんていいますか、多い方に人に引っぱられるというようなことも、心配しなくていいのかなと、いうふうに私は考えるんです。幾らなんでもこうやって文字化されたことを、別な方向に行くってことはない私たち大人ですので、ないと思うので、やはりその早く合同に行って、自分たちの令和13年を主張した方が、私は事が早くっていうわけではないですけども、未来に向かって物事進むんじゃないかなという思いがしてます。これどんどん遅れていってしまうと、なんていいますかね、金屋小学校のこの努力が何か賛同を得られなくなってしまうんじゃないかっていう懸念も私の中にはある

んです。地域の方たちから、何いつまでもやってんだというふうなことになるれば、皆さんのこれまでの努力が、なんかこうもったいないなと思うんですね。ですので、早く合同に行って、その中で自分たちの主張をするというふうに考えてもいいんじゃないかなと思いました。以上です。

市教委 ありがとうございます。保内の方が、令和 13 年統合でいいよって言ってくれば、合同に進んだ方がいいのかなっていうお話だったかと思うんですけども。

学運協 すいません私はそうじゃなくて、その時期も保内と一緒に話をする、してもいいとここに書いてあったので市教委の考え方の中に。だからその主張も合同に行けばできるんじゃないかなとお互いに。そういうことです。令和 13 年に決まるから合同に行くのではなくて、令和 13 年にしたいんですけどと金屋の人がそこへ行ってしまう、だから合同の委員会が必要だという考え方です。

市教委 いかがでしょうか。

保護者 ありがとうございます。今ちょっと三役で確認をしあったんですけども、確かに先生のご意見最もだなと思って伺いをしていたんですけども、三役と P T A で一致した着地点としてはやはりその令和 13 年という筋を、保内小の皆さんとまず確認をさせていただきたいというところに重きを置いておりますので、プロセス上は確におっしゃることがごもつともで、納得をするところなんですけど、組織というか P T A としてこういう方向でという結論を一応出しておりますので、保内小の方に、令和 13 年というところをご確認いただければ、P T A の立場としてはありがたいなというところでございます。

教育長 令和 13 年度を目途にというのは、仮に複式学級が発生しなくても令和 13 年度っていうことを金屋の P T A の方々はお考えだということによろしいんですね。

保護者 そうですね、はい。

教育長 もし複式が発生するとすれば、令和 12 年度に発生する可能性がありますので、発生しないかもしれないですよ、ほんの 1 人の違いで。12 年度にすると複式解消の加配教員を配置してもらえよう令和 11 年度の秋頃までに県教育委員会に申し出なければなりません。すると、市の条例改正も遅くとも令和 11 年度の早いうちにしなければならぬので、そういう意味でも、そこに至るまでやっぱりいろいろ話し合わない駄目ですので、今 2 人の CS の皆様が言われたように、できるだけ早い時期に話し合いというのはされた方がいいのではないかと思います。ただ保内小学校さんがどういうお考えなのかわかりませんので、そこをどう受けとめられるかってのは、ちょっとはつきりしませんけど。

市教委 P T A さんとしては次の合同検討会に、まずは保内の方が令和 13 年で統合するっていうことで受け入れてくれるのかどうか。それをまず、言ってからじゃないと、合同はないっていうことなんですよ。

市教委 はい。

保護者 全部 13 年度がっていう話なんですけど、実際にこの子が、令和 12 年で、複式学級に該当する児童になるんですけど、複式学級に反対してるわけではないんですけど、複式学級の令和 12 年度から可能性があるっていう話で、どうして 12 年度じゃ

なくて 13 年度というのはどうですか。

教育長 はい。ちょっと説明が不足して申し訳ありません。令和 13 年度に統合すると県の方に言うと、その前の年複式学級が発生する予定の場合は、複式学級にならないように、教員を 1 人増やしてくれるんです。だから、12 年度に複式は発生いたしません。それは県に約束させましたんで。

ただ本当に複式学級っていうのは、令和 12 年度には 2 年生と 3 年生の人数が足りないんで、そこで発生するんですが、おそらくどの学校も 2 年生と 3 年生の複式学級なんていたしません。教科に違いがありすぎて。そういう場合は 3 年生と 4 年生で複式学級を作るんです。すると 4 年生 17 人くらい、そこが複式に巻き込まれてしまうんです。その年複式になる、次の年、1 つは単式になる、また複式になるとか、非常に、当事者の学年だけじゃなく、周りの学年が巻き込まれて、複式単式複式単式とか、そういう可能性があって、本当に容易でない状況があるので、複式学級が発生させたくないというのが、教育委員会の一番の大きな願いなんです。

市教委 他に何かご意見ございましたらお願いいたします。

市教委 1 つ質問してよろしいでしょうか。仮に、金屋小学校区としては、統合年度を令和 13 年度を希望します、希望してるんです、保内小学校さんこの年度での統合でどうですかと投げかけたときに、いや、そこまで、保内は待てないよみたいになったときに、お互いのまず合意が見いだせない形になっちゃうわけですけど、まだその答えを受けて、再検討とかっていうのは P T A とすればありますか。いや、聞いてみないとわからない感じでしょうか。

学運協 要するに金屋小学校としては、今すぐ統合しようという、なんていうかせっぱつまったじゃないけども、そういうものが少ないと思うんですよね。保内小学校が統合すると、2 学級になっていいと思うんですけど、金屋小学校としては何ていうんですかね、今のままで大変だっていうことは、少ないわけですよ。その少ない中で、複式ということがあるから仕方ないかなと。そこで落ちるんで、そこを譲ってしまったら、金屋小学校の意見は通らないと思います。それは私は今 P T A の方もそうなんだけど、私も地域の人とかお話しすると、大体じゃないけども、今後、統合は仕方ないんだけど、やっぱり今すぐする必要があるかというそういう意見が多いんです。それは金屋小学校の言い分です。それで、保内小学校は保内小学校でやっぱり金屋小学校と統合してもらった方がやっぱりいいかと思ってるんだと思うんですよね。

だから、その辺の接点ですけど、金屋の方達の、P T A もそうですけど、納得するにはやっぱり今の 13 年度が最低限だと思う。

市教委 それで、それを受け入れられない場合はどうされますか、っていうのを今お尋ねしたんです。

保護者 はい。これも三役の認識でもしも会長、副会長間違ってたらおっしゃっていただきたいんですが、私ども、今ここに臨む前は 2 つの答えしかお持ちしてなかったです。1 つは先ほど話があった令和 13 年に統合するという話をしっかりと確認させていただいて、じゃあどうするかという点が 1 つね、もう 1 つはもうそもそもじゃこれは令和 10 年の今回の計画なので、一旦もうこの話は終わりにしようという 2 つの、考えしか持ってきてなかったんですね、結論として。そうして今令和 13 年にというお話に CS の皆さんからも多少、すべてではないにしても、こうしてはどうかというご意見もいただきながら、その方向で今話になってます。これじゃ保内小学校に受け入れられなかったらどうしますかと言われたら、一番最初の選択肢が消えるので、我々は進みませんという結論をして帰る他ないと思います。そうしたらしか

るべき、例えば令和 11 年とか 12 年に、じゃあ 13 年統合に向けた話をもう一度しましょうと言って、また統合の検討会をして、合同検討会に進むという道になるんじゃないかなと今お話聞いて思ったんですね。でもそうなりとやっぱ支障がありますよねっていうのが先ほどの話だったと思うので、何か保内小としても、逆にそれはメリットないんじゃないかなとか、いろんなことを思いましたけれども。すいませんちょっと蛇足がありましたけれども、PTAとしてはたぶんその 2 者の選択肢しかないんで、そういう話になるのかなと思います。間違っていたら訂正お願いします。

市教委 私たちも、本当に保内校区の考えがよく掴めてませんので、本当に心底どう思ってるのかっていう考えが把握できてないんです。だから皆様のお考えを投げかけたときに、すんなり受けとめてくださるのか。いや、今言われたように、保内になんのメリットがあるんだって開き直ってですね、そういうふうに言われたとき、教育委員会は学年 2 学級を作るっていう提案してるのに、なんでそれを、目的覆すようなことをするんだって言われたときに、ちょっと私たちは苦しくなるし、いや、金屋の皆さんがそういうお考えなんだから、是非それを受けとめてくださいよとはもちろん、そうになったら言わせてもらいますが、でも、でも保内がもう 10 年度まで、もう学年 1 学級にかなりの学年がなって、もう慣れちゃったよと、保内はそれで行くってなったときに、もう金屋の力借りなくてもいいよとかそんなふうにもし受け取られたら、今度金屋小学校さんが本当に複式今令和 13 年度、7 人だったでしょうかね。令和 14 年度今のところ 3 人しか子供さんおりません。それって複式がもう複数発生してしまうとか、そういう状況に置かれるのが心配なんです。そのときに、何とかしてくれって言ったとき、保内がいやあの時断ったじゃないかとか、そんなふうにしじれないか、こじれると嫌だなと、そこは心配してるんですが、どういうものでしょうかね。そういう受け取りしないものでしょうかね。

保護者 私 QR コードとかもちょっと読ませていただいたんですけども、保内の方が何か、なんだろう、保内の方の保護者が金屋の保護者を説得しなきゃいけないんじゃないですかみたいな意見もありましたよね。
保内の方のアンケートを見ると、やっぱ受け入れる側のスタンスだったから、金屋の皆さんの意見を、やっぱ尊重したりとか、教育委員会の方は金屋のやっぱ保護者に丁寧な説明をしてですよみたいな、なんかその保内は、受け入れるから、まず金屋の考えをちょっと丁寧に寄り添った方がいいんじゃないのっていう意見があって保内の方もそういうふう考えてくれてるんだなと私は取ったんですね。
保内の方たちは、どれぐらいその危機感を、今統合に対して持っているっていうふうに教育委員会の方は、受けとめているのかなっていうことと、その保内は 1 クラスでいいよ、離れちゃったからそれでいいよってなったときに、そのときこそ教育長さんが 2 クラスを説得を今度保内にするべきなんじゃないかなっていうふうに思いました。今私たちは、令和 10 年に向かって 2 クラスのために何とかっていうお話を今いただいているんですけど、もし保内が立場が逆転して保内は 1 クラスで行くんだとなったら、それこそ教育長さん、今私達説得したように、保内の方に、いや、2 クラスにしましょうよっていうその説得を保内の方に向かってしていけばいいんじゃないかなっていうふうに、今ちょっと聞いてて思ったんですね。あれだけ 2 クラス、2 クラス、2 クラスって言っているんであれば、保内の方がそうなったときは、同じようにして 2 クラスを主張すべきじゃないかなというふうに、単純に思いました。

なので、とりあえずその保内さんが本当に今どれだけ統合に対して、金屋と統合しなきゃいけないっていう危機感を持っているのか、教育委員会としては何回か多分検討会進めてきてると思うので、その中で感じてその危機感みたいなのは、どんなものですか。

市教委 はい。保内の統合検討会は1回で、前に進んでいいよっていうふうになったので、検討会は1回しか開催していません。その前段に、90%超のアンケート結果を、自由記載も読ませていただいた中で、やっぱりおっしゃるように、危機感っていうのは、あまり強くないなというふうに感じています。なので、個人的に、アンケートでもありますけれども、仮に今計画が令和10のものを13でどうですかと、金屋が13を希望してますよって言うっていったときに、受け入れて結構受け入れてくれる考えの保護者が多いんじゃないかっていうような気はしています。

ただ、例えば学校現場とか、今まで、20人20人のふたクラスだったものが、人数が減って30何人の1クラスになるっていうことって、学校現場からすると、非常に今まで目が届きやすかったところが1クラス、1人の先生で目が届きにくくなりますよね。1クラスになって人数が増えて。そういった危機感というのが、だんだんこう浸透してくるのかなあということは考えています。最初、2学級だったものが1学級になることに対しての危機感というのは、保護者レベルではそう強くないなっていうふうには感じてるんですけど、そこはこれから浸透してくるのかなっていうふうに思います。

保護者 すいませんそこに合わせて1つ質問なんですけど、教育委員会が2学級ってことをうたってるんですけど、いざ、例えば令和13年とかに、仮に、統合しますってなったときに、数値見ても、1学年34なので、何か教育委員会がうたっている2クラスというのは、1年生だけは、1クラスだっていうと、そういうとらえていいんですよね。35以下ってことなんで、令和13年見ると、1年生は34だから、1年生だけは1学年、あと2、3、4は、2クラスっていうことで、何かこう、人数の推移を見てても、2クラスでもう果たして何年続くのかなっていうのは、これもちょっと我が家では話題だったんです。これはずっとずっと2学級であれば、教育委員会が言っていることと筋があうんですけど、結局人が減っていくってことで、うたっていることが何年か続かないんであれば、何か、果たして根本はやっぱりその、何かこう違っているのかなという感じがあります。結局、令和20年、25年って、はたして人数どうなってるのかな、2学級じゃないのかなって、1学級なのかなっていうのは。

教育長 いや、おっしゃる通りです。もう令和13年度には、金屋小さんと保内小さんが統合しても2学級は維持できないと思います。だから、今来年から保内小学さんの1年生が学年1学級になるんです、いよいよ。そうならないと保内小学校さんの保護者の皆さん、大変さがわからないと思います。今20人程度の少ない人数で、いや保内小学校さんもちちゃんと学級経営できてるんだと思います。それが、30人とか32、32人の1学級となると、本当に容易でないと。だから金屋小学校さんの子供と一緒に2学級なると、20何人程度の2クラスで、理想的なのを維持できるんじゃないかと。ただ、令和13年度になると、本当にそれすらできない状況になりますので、そうなったときに、本当にもう、保内小学校さん、じゃ統合しなくてもいいやとか、そういう思いになると、どうなっちゃうのかなと。

保護者 すいません。せっかくなので、今までの経緯の話をしていると、保内が大変だから、金屋小学校の子供たちを入れてっていうのは、どうしてもやっぱり保内が大変だからというふうに聞こえてしまって、何か保内が大変だからこそ金屋が行くっていうのではなくて、その根本っていうか、その本当まず同じ教科書を使って、同じ教育活動をしているっていうことで何か、そこが何かこう、大変だからこう一緒にがっちゃんこして、でも結局はまた1クラスになったっていうか、何かそこがちょっとなんかこう聞いていて、何かこうとらえが、そうではないと思うんですけど、感じてしまうというところがちょっと正直な本音です。

教育長 適正規模の学校というのは、最低学年2学級、学年3学級とか、そういうのが望ましいですよと、国も県も市教委も言ってるんです。ただそうならないときに、せいぜい学年20人以上の、そういう規模の学級だといいねと、そこまで緩和して、県も、市教委も述べてるんです。決して、保内小さんのためだとか金屋小さんのためだとかじゃなく、私たちは荒川地域の子供たちの環境がどうあればよいのかということで、学年2学級を当面維持できるように、提案させていただいてるんです。だから決して誤解のないようにしてください。

学運協 もう1つ質問で、ちょっと違うんですが、今荒川地区を伺うといっているんですけれども、他の学校を見ると、ほぼすべて全部2学級という学校はないんですが、そのあたりはこれからどういうふうに考えてらっしゃいますか。その前の資料を見ると、一番多い南でさえ11。要するに全部2学級にはならない。他のところも2学級全部つくれるところはほとんどない、というところで、それに対して。

教育長 その一番右側を見てください。市教委が求める統合した学校のその理想が書かれています。保内小学校と金屋小学校さんは学年2学級程度の、村上小と村上南小も学年2学級を維持できるようにしたいという願いを持っています。ただ、山北エリアとか、朝日エリアとか、例えば朝日の場合小学校3つが一緒になっても、2学級なんてできません。でもそれ以上の学校と合わせると、とても校区が広くなりすぎて、それは難しいですので、そういう地区によって願いを変えております。

区長 ひとつ教育長さんね、先ほどもどなたかあったんですけども、PTAの意向っていうのが大体示されましたよね。前回受けてもう1回よく意見まとめて今日の会設定されてると思います。そこで十分揉んで、1つの方向性を持ってきたと思いますね。お話の中で、保内小学校の受けとめがどうなるかっていうようなお話ししてますけども、私はそれは教育委員会の仕事じゃないかと思うんです。金屋小学校の皆さん、喧々譁々いろいろ議論して、こういう意向を持ってきたのに対して、保内小学校なんていうんだらうなっていうスタンスじゃなくて、やはり金屋小学校の皆さんの意見を保内小学校の皆さんに十分理解できるように、お伝えするっていうか、そういう役割をしながら、この統合問題ってのは進んでいくんじゃないかなというふうに思います。

蛇足ですけども、1回目の区長会のときにも申し上げたんですけども、こういう統廃合問題って、多数決だとか、数の多いところとか、パワーがあるところの意見で決めていくもんじゃないですよと、やっぱりお互い納得ずくでいくんですよというようなお話をさせていただいたと思うんです。

ですから、そういう意味では、是非今日の金屋小学校のPTAの皆様の意見を受けて、是非保内の皆さんにご理解いただいて、それで前に進めていくというような方向でいったらどうなのでしょうかね。私はそれは教育委員会の皆さんの、汗のかきどころかなというふうに思うんですけれども、いかがでしょう。

教育長 はい。今のお話よくわかりました精一杯努力いたします。

学運協 是非その場で、各学校単位で考えるのではなく、この荒川地域の子供たちの将来を考えて、金屋小の皆さんが検討して、この結果を導いたんだと。ですから皆さんも、この荒川地域の子供たちの将来を考えて、これを受けとめてくださいというようにすることで、ひとつ努力していただければでしょうか。お願いします。

教育長 はい、わかりました。とにかく保内側に伝えて。

学運協 説得してください、もし駄目だったら。

教育長 駄目だったらまたここにもどります。

学運協 またそんなこと言わないでください。

区長 戻らないように頑張ってください。

学運協 やっぱ教育委員会はその計画が令和 10 年ですので、その気持ちがやっぱりどっかにおありになるんだろうと思うんですよね。だからそれ一旦置いていただいて、ここまで議論してきたんですから。金屋のこういう様々な経緯を踏まえながら、金屋の思いを尊重して保内に伝えていただく、その計画はちょっと一旦、令和 10 年の計画はちょっとそばに置いていただいて、まっすぐ金屋の気持ちを伝えていただきたいなというふうに、ご努力をお願いしたいと思います。

教育長 はい、わかりました。

市教委 それでは、まず、市教委側が、保内小学校に出向いて、金屋の方がこのように、考えてますという会をまず踏んでから、また、保内の方がそれに対してこのような感じでしたとか、また、金屋小学校の、今日のメンバーの方にご報告させていただく形にしていこうと思いますが、いいでしょうかね。

学運協 ですから、できるんだったら、2 度 3 度同じようなことをするんじゃなくて、保内小さんが受け入れが OK であれば、そのまま合同検討会済んだらどうですか。

市教委 いや、おっしゃる通りなんですけれども。

学運協 いやもし違って、もめたらあれですけど。受け入れられたらどうですか。

学運協 金屋の人はそれでいいんですよね。

保護者 13 年で受け入れという確約がとれるのでしたら、もうそれで進んでもいいかとは思っておりました。

区長 皆さんのお話はそうですよね。

学運協 じゃあもう受け入れとなったら、もうこちら側は合同検討会進んでいいよっていうことであればいいんじゃないですかね。

市教委 あ、おっしゃる通りです。保内の方に行って、令和 13 年度で統合できないかということで、お話し合ってきたと思います。13 年度に統合していいですよっていう形に向かって、保内の方に話をしていますので、それ以外の結論にはなるか、それは行ってみないとわからないですけども、保内の方が何ていうか、今ここでわかりませんので。ですけど、金屋の方の思いはできるだけこういって、みんな思ってますっていうことは訴えてきたいと思います。それで、保内の方が、なんて言うかっていうのは、ここには保内の方がいませんので。何ていうかな、はい、でも市教委は、努力して、金屋の意向を伝えて、保内の方にも合意していただきたいということは訴えてきたいと思います。なんて言うんでしょう、うまく言えませんが。

学運協 それで保内の方がいいですよとなれば、もう合同に行くということでよろしいん

よですよ。

市教委 そうですね。

学運協 金屋の人もそれでいいんですよ。

保護者 令和 13 年で OK となれば。

教育長 保内が、13 じゃなくて 12 でもいいんじゃないかとか 11 でもいいんじゃないかとかいうことになる。

保護者・学運協・区長 それは駄目。話にならない。

市教委 13 にこだわられるわけですよ。

保護者 そうですね。

保護者 これが 13 じゃない 12、11 っていう話はもう政治主義の違いみたいなもので。もう教育委員会の皆さんのお考えはよく説明いただいたのでわかっているつもりです。自分たちなりに理解をしていて、だけれども私たちも譲れない考えがあって、議論を尽くした結果、令和 13 年でお願いしたいということになるので、令和 10 年、11 年って言われてもそこは動かないです。申し訳ないですけど。

学運協・区長 頑張ってください。いろんなところに話持っていかなければいけない、大変だけど。

教育長 はい。じゃ、保内小学校さんにもう 1 回統合検討会に戻ってもらって、そこで話題提供させてもらいます。

学運協・区長 よろしくをお願いします。

市教委 どうもありがとうございました。これで、第 2 回目の検討会を終了したいと思います。どうも、長時間にわたって大変ありがとうございました。